

平成 28 年度 文部科学省

「保育分野における中核的専門人材養成プログラム開発事業」

モデルカリキュラム検証研修

実施要綱

この研修は、文部科学省採択事業にて「保育分野における中核的専門人材養成」を目的とし実施されます。

平成 23 年度より、文部科学省では、中核的専門人材養成のための新たな学習システムの基盤を整備する目的で、「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」の委託事業が始まりました。

その一環として、「保育分野の中核的人材養成」について、愛知県現任保育士研修運営協議会が平成 27 年度に採択され、中核的人材養成のための「研修ガイドライン」を作成しました。

研修ガイドラインにおいて規定した「保育分野の中核的人材」とは、職務上の職種「園長」「主任」ではなく、「保育専門職として、各階層（初任・5年目・育休明け）においての中心的存在、また個別の保育課題（障害児保育・乳児保育）において中心的存在である保育士」を指します。

本事業に関しては、平成 28 年度も継続して文部科学省に採択されました。そして今回は、昨年度作成した「研修ガイドライン」を検証するための研修（検証研修）を実施することとなりました。

「保育分野の中核的人材」の意味や本研修の意義についてのご理解、ご了承の上、本「検証研修」へ是非ともご参加いただきたく、お願いいたします。

申込方法：個人にて「所定申込用紙」をご使用し、郵送、FAX、メールいずれかにてお申し込み下さい。
「所定申込用紙」はホームページからもダウンロードしていただけます。

<http://www.nagoyacollege.ac.jp/gennin/>

※メールにてお申し込みの際は必ず件名を【モデルカリキュラム検証研修申込】としてください。

締め切り：10月8日（土）必着

申込先：郵送：〒470-1193 愛知県豊明市栄町武侍48番地
「愛知県現任保育士研修運営協議会」宛て

F A X：0562-97-3674

E-mail：gennin@nagoyacollege.ac.jp

問い合わせ先：TEL：0562-97-3674 不在の場合はメールにてご連絡ください。

一般社団法人 愛知県現任保育士研修運営協議会



**平成 28 年度 文部科学省委託事業 「保育分野における中核的専門人材養成プログラム開発」 事業
育休明け保育士モデルカリキュラム検証研修 実施要綱**

目 的：社会の変化や今の保育状況について理解を深め、現在の保育に対応できる幅広い知識と保育スキルを習得します。特に今の保育ニーズに対応できるように、配慮を要する子どもに対する保育のあり方や、保護者支援のあり方について理解を深め、子どもを育てる同じ立場に立って、保育する意欲を高めます。ワークライフバランスに対する理解を深めながら保育の魅力を再発見すると共に、自分なりの保育の視点を持ち、自信を持って保育できる意欲を高めます。

受講対象者：育児休業明け3年未満の保育士

定 員：20名（定員に限りがありますので、申し込み多数の場合調整をさせていただきます）

開催期間：10月22日（土） 1日間

開講時間：9：20～16：30

研修会場：東別院会館 2階「蓮」 名古屋市中区橋2-8-45 電 話 052-331-9576

地下鉄名城線「東別院駅」4番出口より、西に徒歩約5分

※駐車場はございますが、利用不可の日があるため念のため公共交通機関にてお越しく下さい。

※昼食はご持参いただくか、近隣店舗をご利用ください。

内 容：

	1時限目	2時限目	3時限目	4時限目
	90分間	90分間	90分間	90分間
1日目 10/22 (土)	近年の保育を めぐる状況 (子ども子育て支援 法改正を受け)	保育士としての 仕事への理解 (今、保育士にはこ んな力が求められ ています)	保育職の 魅力再発見 (保育って 素敵な仕事)	保育職の魅力の伝達 グループワーク (悩みを共有して明日 の自分をみつけよう)
	岡田真智子 (愛知学泉短期大学)	小島千恵子 (名古屋短期大学)	小島千恵子・岡田真智子・ 五十嵐睦美 (名古屋芸術大学保育専門学校)	

持ち物：出席簿に押印頂きますので印鑑をご持参ください（シャチハタ可）

※自分の生活と仕事について、生活と仕事それぞれに自信を持っていること、
自信を失っていることについて、育休前と育休後の変化について整理して参加してください。